

# どうなるんぞ！ どうすんぞ！ きんぞ

(第8回)

## 問題の経緯

住専処理策を盛り込んだ97年度予算案がようやく国会を通過。しかしこれで農協系金融機関の不良債権問題が終わったわけではない。山にたとえれば、ようやく2合目が3合目にたどり着いた感じである。これからノンバンク向け融資、信連や農協が独自に貸し付けて発生させた不良債権が待ちかまえている。ノンバンク整理が進めば系統3段階制は一挙に崩壊へ突き進むことは間違いなさそうだ。

このコーナーでは、農業をめぐるわかりにくい疑問や解決しにくい問題に、法律に詳しいジャーナリストが答えます。さて、今回の質問は？

Q：農協の貯金流出が深刻だと新聞は伝えていますか。

A：農林中金が公表した2月末の対前年同月比は0・3%だった。貯金は定期貯金の金利分が積み上がっていくことをカウントすれば、実質マイナスだよ。農林中金は4月から都道府県別の数字を公表しない方針を打ち出した。公表すると信用不安が起きかねない。それが理由だ。

Q：いま住専以外のノンバンクの方がさらに問題だと言われていますが、農協系金融機関はどれくらい貸していますか。

A：政府が国会に報告した資料によれば、農林中金3兆4273億円、信連2兆1976億円、全共連・共済連2兆681億円の合計7兆6930億円。住専向けの5兆5000億円より断然多い。

Q：ノンバンクの経営内容はどこです？

A：ノンバンクは全国に1万1800社あって貸金業者のことをさす。住専のように銀行が設立母体のノンバンクと、独立系のノンバンクの2つに分類できる。オリックスやアコムのような優良業者もあれば、不動産貸付専門で破綻状態の業者もある。厄介なのは後者だ。住専と同

じようにバブル期の地上げなど、不動産向け融資がダントツに多い。農協系はそんなノンバンク向け融資が多いようだ。

にありますがね。  
A：一番恐れるのは、農協発の金融パニックだ。ディスクロージャー（経営内容の公開）がないだけに、農協系金融機関の実態はつかめない。信連や農協が、バブル期以降に実施した不動産関連融資は底なし沼のような焦げ付きがある。福島県信連の場合は900億円の貸付で焦げ付きが280億円もあるという。地元政治家が絡んだ不正融資の疑いが濃厚なんだ。住専どころではない。

Q：ノンバンク向け融資でどれくらい不良債権があるんですか。

A：銀行筋の見方では、地価の続落具合を勘案すれば、不良債権は4兆円を越すということだ。住専の何倍もの損失処理が待ちかまえているんだ。今度は母体行に損失を負担させるような覚書や誓約書は何もない。母体行の銀行保証が付いていても、銀行系で母体行に能力がなければタダの紙切れだ。

Q：それじゃ、農協系は完全にアウトではないですか。

A：そうだよ。ノンバンク向け融資の損失処理で農協系も命運が尽きるというところかな。銀行も不良債権処理のスケジュールにしたがって、ノンバンク整理を始めるだろう。住専処理が進めばノンバンクがバタバタ倒れる可能性も十分にある。これからの最大のポイントかな。

Q：そんな事情があるから農水省も農協系金融機関の整理統合を急いでいるのですか。整理統合はうまくいきますか？

A：夏までに整理統合案は出るが、結果的にはうまくいかないと思う。ポイントが信連の解体にあるが、農林中金は約8800人の質の悪い信連職員を引き取りたくないと言っている。農林中金の本音は、『獲物（信連）は弱らせてから釣れ』ということではないか。いま変に動く不良債権をいっばい抱えた信連を農水省から押しつけられかねない。農林中金、信連、農水省の心理戦が始まるんだ。

Q：農協系が大混乱に陥る可能性も十分

## 質問・相談をお寄せください

編集部では読者の皆様からの質問・相談を募集しています。質問・相談は、氏名・住所・電話番号を明記の上、手紙かファクシミリでお寄せください（相談者の氏名・住所・電話番号を記事に掲載することはありません）。宛先：〒169 東京都新宿区高田馬場4-30-19 株式会社農業技術通信社「農業経営者」編集部 Fax.03-3360-2698